

行ってみよう！見てもよう！ -月館町の文化財-

① 下手渡藩天陣屋跡

下手渡藩は文化3年(1806)九州三池藩から立花種善侯が伊達郡内に1万石の殿様として移され、下手渡に陣屋(城を持たない大名の屋敷)を開き63年間続きました。

② 耕雲寺侍墓地

耕雲寺にあり、下手渡藩主立花氏三代とその藩士(藩の家来)のお墓が建てられています。藩士のお墓は、一段高い藩主の墓碑に向かい合うように位置し、死んだ後も忠誠をつくす心を表しています。

③ 堂ノ脇乳銀杏

根の回りの長さが7.5mもある大きな銀杏の木で、樹齢約400年と推定されています。大きな枝から気根が多数垂れ下がっている姿から乳銀杏と呼ばれています。

④ 岳林寺十六羅漢像

岳林寺の山門に当たる場所で、数本の古い松の根本に16体の羅漢像が置かれています。この羅漢像は福島市の黒岩の満願寺にある十六羅漢像よりも先に作られた古いものと考えられています。

⑤ 薬師寺

〈薬師寺の行屋〉

江戸時代から大正時代にかけて羽山こもりが行われた行屋です。羽山こもりとは、里近くの低い山にまつている神様に豊作を願ったり災いが起きないように祈ったりするための行事のことです。

〈元苗内薬師如来像〉

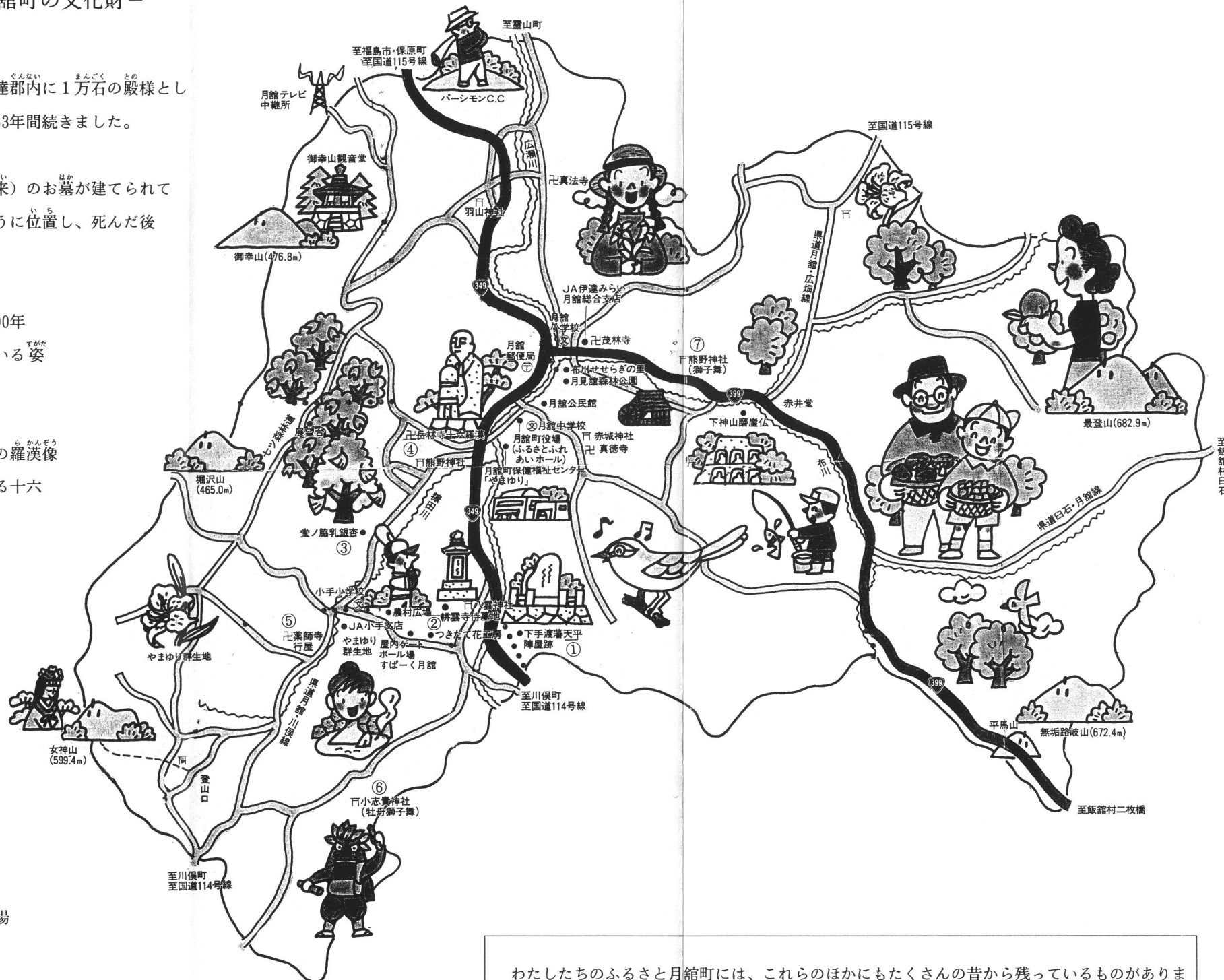
木造で、蓮の台座に立つ約40cm。平安時代末期の作で町に残っている最古の仏像です。

⑥ 小志貴神社牡丹獅子舞

獅子児と軍配持ちの5人の子供が演技の中心となり、笛・太鼓のおはやしによって舞が進められます。舞は、12の場面からなる物語を構成している優雅なものです。

⑦ 布川熊野神社獅子舞

羽織・袴を着た弓持ち、ひょうとこ面をつけた軍配持ち各1名腹に太鼓をつけた舞子2名と3匹の獅子とが楽器に合わせて舞う勇壮なものです。



わたしたちのふるさと月館町には、これらのほかにもたくさんの昔から残っているものがあります。35ページの写真や地図を参考にして見学したり、くわしい大人の人からお話を聞いたりして、実際にふれてみるといいですね。